

令和2年6月1日

国土交通省

鉄道局長 水嶋 智 様

静岡県中央新幹線対策本部長

静岡県副知事 難波 喬司

リニア中央新幹線静岡工区に係る有識者会議について

「会議の透明性」について、貴職より令和2年5月26日付けで回答をいただくとともに、5月29日の記者会見において国土交通大臣の御発言があったところですが、下記のとおり改めて意見を申し上げます。

記

- 1 「会議の透明性」については、1月30日、貴局からの有識者会議の設置の提案を受け入れる際の前提として、貴局に申し入れを行い、「全面公開」の合意を得たものである。

貴省の5月13日付記者提供資料「リニア中央新幹線静岡工区有識者会議の公開のあり方について」では、「WEBによる全国配信については、委員から、生配信後の各委員のご発言の取り扱い方等について懸念がされており、そのような公開の仕方は、委員の忌憚のない発言を阻害する要因になり得ると考えている」とされている。

しかし、「会議の透明性」については、2月6日の有識者会議に関する協議で委員選定の前から、県と貴省との両方で合意していた事項である。これについては、2月6日の有識者会議に関する協議で、「透明性の確保」について議論を行った際、貴省から「カメラ撮りは冒頭部分だけで、あとは報道関係の傍聴可能という形で行いたい。庁舎管理等の問題から一般の人の公開は控えたいが、報道機関には公開することで、隠し事はしないということは約束する」旨の提案をいただいた。

その後、新型コロナウイルス感染症の拡大により、会議はWEB方式で行うこととなった。WEB方式であれば、「庁舎管理等の問題」は生じない。このように貴省の当初の説明とは異なる理由により、全面公開ができないとすることは理解しかねる。

2 5月26日の貴省からの「リニア中央新幹線静岡工区有識者会議について」では、「報道関係者の傍聴、会議後の記者ブリーフィング、議事録の速やかな開示により、透明性を確保することで、会議の全面公開との要件は満たしている」と記されている。

しかし、貴省の方法では、会議当日、報道機関にだけしか傍聴を認めていない。一般の方々には自分で直接、情報を得ることができず、会議の議論の状況を知り得るのは、後日、会議終了後の報道と議事録によるしかない。それでは、全面公開とは言えない。

3 貴省は、5月29日、「静岡県が求めている会議の全面公開との要件は、基本的に満たしているものだと考えている。こうしたことについては、静岡県の担当者の方とは事前に調整して、異論はなかったものと承知している」としている。しかし、県はこれまで一貫して全面公開を求めており、「異論がない」と発言したことは無い。

現状では、県民の負託を受けた県議会議員の傍聴が認められておらず、不満の声が上がっております。

次回以降は合意5項目の第一である「会議の透明性」を遵守し、有識者会議における情報のやりとりの全面公開を求めます。